

あめ 雨のこともっと知ろう！

は 晴れ、くもり、あめ 雨… てん き 天気はさまざまで、まいにち 毎日そのようす 様子はかわります。
そのなか 中でも雨は、あめ 草や木をそだ 育て、わたしたち 人間や どうぶつ 動物ののみず 飲み水にも
なるなど、いのち 命にとってたいせつ 大切なものです。

とくにこんな てん き 天気 のときは ちゅう い 注意 しよう！

① は 晴れていても…



② ま 真っ くろ 黒な もくもく とした
くも あらわ 雲が現れる



くろ くも で ひる 黒い雲が出てくると、昼なのにこんなに暗くなる！



(資料出典) 気象庁ホームページ「急な大雨や雷・竜巻から身を守るために」

このようなことをしたらあぶないのでぜっ たい 対にやめよう！

✕ あめ 雨のときに かわ 川のそばに いく。

★ かわ みず 川の水がふえて、なが 流されてしまうきけんが
あるので ちか 近よらないようにしましょう。



ところが、この雨も多くふりすぎると、川の水が町へあふれ出たり、山がくずれて家をたおしたりするなど、わたしたちにとってきけんなものとなります。多くの雨がふりそうなときは、安全な場所へにげましょう。

そのためにも、いつも空の様子には注意しましょう。

3 雷の音が聞こえる

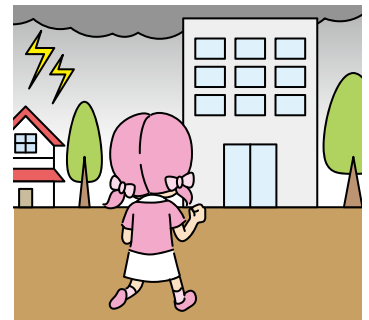


4 急に雨がふり、雷が落ちた



雷の音が聞こえてきたら、すぐに強い雨がふり、雷が落ちてくるかもしれないので、早く安全な場所のにげましょう！

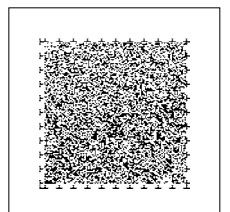
※雨がやみ、雷が鳴らなくなるまで、じょうぶな建物の中で待ちましょう。



× 雷のときに公園などの広場で遊ばない。

× 木の下に行かない。

★雷があなたに落ちることもあるので、近くのじょうぶな建物のにげましょう。



雨のふり方にも注意しよう！

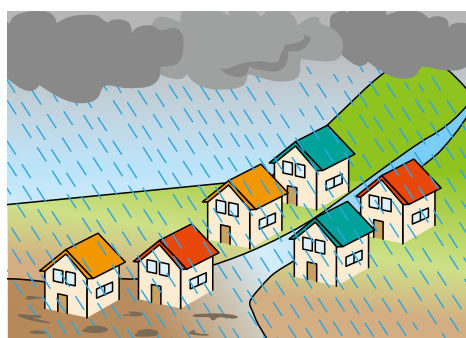
雨の強さ・ふり方と災害のあぶなさを知ろう。

この表は、雨の強さやふり方と災害へのあぶなさを示したものです。
ふだんから雨のふり方に注意し、あぶないと感じたら、避難することが大切です。

予報用語 1時間の雨量(mm)	人の受けるイメージ	人へのえいきょうと屋外の様子	災害のあぶなさ
やや強い雨 10mm以上～ 20mm未満 	ザーザーとふる。	地面からのはね返りで 足もとがぬれる。 地面に大きな水たまりができる。	ながくつづくときは 注意をする。
強い雨 20mm以上～ 30mm未満 	どしゃぶり。	かさをさしていても ぬれる。	みぞや小さな川があふれる。 がけくずれが起きるおそれがある。
はげしい雨 30mm以上～ 50mm未満 	バケツをひっくり返したように ふる。	道路が川のようになる。	やま 山くずれ・がけくずれが 起きやすくなる。
ひじょうにはげしい雨 50mm以上～ 80mm未満 	滝のようにふる。 (ゴーゴーとふりつづく)	かさは全く役に 立たなくなる。 水しぶきで、あたり全体が 白っぽくなり、 よく見えなくなる。	地下室や地下街に雨水が 流れこむ。 土石流が起こりやすい。
もうれつな雨 80mm以上 	息苦しく感じる。 こわさを感じる。		おおきな災害が起こる おそれがある。

雨のふりやすい時期は？

- 6月ごろから7月ごろは、梅雨とよばれる雨の多い時期になります。
 - 9月中ごろから10月にかけて秋雨前線による天気のおおききづつきがあります。
- 台風が近づくのもこのきせつです。



雨の多い時期に注意



台風に注意

広島県で起こりやすい風水害ってなに？

- まずは、広島県で起こりやすい風水害について知しましょう。
- 風水害とは、雨や風により発生する災害です。
- 大きく3しゅるいです。



ど しゃさいがい
土石災害

やま たに
山や谷、がけから
ど しゃ
土砂がおしよせること



か せん はんらん
河川の氾濫

かわ みず
川から水があふれること



たかしお はんらん
高潮による氾濫

うみ りく ち みず なか
海から陸地に水が流れこむこと



ちい かわ
小さな川の氾濫

- 土石災害は、大きく「土石流」、「がけくずれ」、「地すべり」の3つに分けることができます。過去に大きな被害が発生したのは、「土石流」と「がけくずれ」です。



ど せきりゅう
土石流



がけくずれ



じ
地すべり

- 広島県は、土石災害が起こりやすくあぶない場所が、48,000か所くらいあり、全国でもっとも多い県となっています。

資料出典：NPO法人 土砂災害防止広報センター

